

第43回

The 43rd Annual Meeting of the Japanese Society of Intensive Care Medicine

日本集中治療医学会学術集会

ランチョンセミナー26



AKIに対するCRRTに 新たな展開はあるのか?

日程

2016年2月14日(日) 12:20~13:20

場所

第5会場

神戸ポートピアホテル南館B1F「サファイア」

神戸市中央区港島中町6丁目10番地1

座長

福岡大学医学部 救命救急医学講座

石倉 宏恭 先生

演者

東京大学医学部附属病院 救急部・集中治療部

土井 研人 先生

※本セミナーは整理券制です

共催: 第43回日本集中治療医学会学術集会
旭化成メディカル株式会社





AKIに対するCRRTに 新たな展開はあるのか?

土井 研人 先生

東京大学医学部附属病院 救急部・集中治療部

ICUにおける急性腎障害 (acute kidney injury: AKI) は、敗血症・多臓器不全に合併して発症することが大部分であり、血液浄化療法として持続的腎代替療法 (continuous renal replacement therapy: CRRT) が選択されることが多い。しかし、CRRTの開始・終了基準、モダリティー・浄化量・フィルター・抗凝固薬などの治療条件については一定の見解は得られておらず、ガイドラインにおいても高い推奨が示される項目は少ない。一方、我が国においては、CRRTは限られた施設においてのみ施行可能な特殊な治療ではなく、数多くのCRRTが広く行われている現状がある。確固たるエビデンスに乏しいものの、現実的にCRRTを用いた治療を行う場合、どのような根拠・理由付けをもって診療を行えばよいのであろうか?最近、日本からトップジャーナルにCRRTに関する臨床研究が多く発表されるようになった。これらをレビューするとともに、我々が行ったアンケート調査の結果を示すことで、AKIに対するCRRTに新たな展開が期待できるかどうかを議論したい。



The 43rd Annual Meeting of the Japanese Society of Intensive Care Medicine

第43回 日本集中治療医学会学術集会 ランチョンセミナー26